

令和6年度第1回丹波市文化財保護審議会・丹波市歴史民俗資料館運営委員会会議録

日 時：令和6年7月4日（木）午後2時～午後3時45分

場 所：丹波市教育委員会 委員会室

出席委員：大木会長、山内副会長、井上委員、篠崎委員、村上委員、植野委員、橋寺委員、平岩委員

欠席委員：久下委員、門脇委員

事務局：足立教育部長、小島課長、足立副課長、徳原主任学芸員、西岡学芸員、玉出学芸員  
塚田主事

1. 開会 小島課長

2. あいさつ 足立教育部長

3. 委嘱

(1) 委嘱書の交付 足立教育部長から交付

(2) 自己紹介 委員、事務局職員

(3) 会長（委員長）・副会長（副委員長）の選出 互選

会長（委員長） 大木辰史氏

副会長（副委員長） 山内順子氏

(4) 専門部会について【資料1】

部会名	部会長	委員	委員	委員
美術工芸	門脇むつみ	井上 舞	村上正樹	平岩泰典
建造物	橋寺知子	大木辰史	平岩泰典	山内順子
民俗	久下隆史	大木辰史	篠崎昌裕	
記念物	植野浩三	篠崎昌裕	村上正樹	山内順子

#### 4. 報告事項

##### (1) 令和6年度 文化財関係事業について【資料2】

事務局から説明

質疑

委員	市辺散布地発掘調査の柱の間隔はどれぐらいか。
事務局	おおよそ 50 センチ程度です。
委員	普通の建物では短すぎる。
事務局	間隔が短く大きな柱でもなかったなので、建物としては小さめで、柱自体も細い。上がどれだけあるかわかりませんが、残存で 20 センチ程度。 掘っている溝に対してトラクターの爪跡が何本も入っていますので、本来の深さはあと 10 センチ～20 センチはあったのではと思います。
委員	いろいろ検討してください。
事務局	はい。
会長	市辺付近は何か出るんじゃないかという期待値の高い土地ですね。かなり昔に開発された大規模な施設などは一体どうだったんだろうかと思うんですが、あの時代さっと開発をやってしまいましたけれども、市辺付近はかなり重要なものが出そうなところだということを感じます。 それともう 1 点、旧柏原藩の藩士であった松原家から文書が約 70 点寄贈されたという話をお聞きしましたけれども、解説とか整理というのは、どれほど進んでいますか。
事務局	資料には寄贈いただいた方のお父様が解説されたものがついておりまして、内容的にはわかるのですが、神戸大学にも見ていただきながら調査をした上で展示をできればと考えています。
会長	楽しみにしております。

##### (2) 興禅寺 石垣の崩落について【資料3】

事務局から説明

質疑

委員	興禅寺の土地は史跡の中に入っていますか。
事務局	興禅寺の境内と本堂は、史跡の中には入っていますが、石垣について今までの整備基本計画では触れていません。 石垣については、黒井城があった織豊期とは時期がずれているので、落城後の歴史の一つとしてとらえて史跡に含めるかどうかを今後検討してください、という文化庁の指導がありました。土地は史跡だけれど、史跡の構成要素として石垣も含まれるのかは要検討です。
会長	石垣も史跡に含まれるかどうかはどこで検討するのですか。
事務局	黒井城跡整備委員会において、検討します。
委員	整備委員会で審議するとしても、緊急を要する事項だと思います。早めに整備

	<p>委員会を開く必要があるし、計画をちょっと早めにされた方がいいのではと思います。これからもっと石橋が崩れたらどうするんだ、となりますし。専門家が調査をして、また積み直すという計画もかなり時間がかかると思います。</p>
委員	<p>雨も降っていない時に崩れたのですか。</p>
事務局	<p>はい。前日の夕方には崩れておらず、次の日の朝には崩れていました。</p>
委員	<p>前の日も雨は降っていないですね。</p>
事務局	<p>はい。ご住職と総代さんに聞いたところ、もともと少しひずんでいたのが危ないと思っていたが、一番危ないところの反対側が崩れたとのことでした。若干隙間ができてはいますが、ぐらつきはありません。崩れた石垣の目の前に橋の土台があるので、このまま積みなおすのであれば、反対側も隙間ない状態に戻して直さないと、移動も手間になってお金もかかってしまうので一緒にさせて欲しい、とのことでした。</p>
委員	<p>事務局の報告のとおりですが、地元の声を聞くと仮橋をどのように作ろうかと、今後の方針の立て方もよくわからない状態でとても困っておられます。</p>
委員	<p>私も石垣は全然専門ではないので何とも言えないのですが、1ヶ所崩れると全部に響いてきそうなので、どこかだけ支えればもつという感じでもない。計画に沿って応急的な対策から将来的にどうするのかも含めて、どんな方法があるのかというメニューが知りたいだろうと推測しますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>橋そのものが文化財というわけではないですよ。史跡として、同じように復旧させるというのは、今の新しい技術を入れる復旧も史跡の場合でもできるということなんですか。</p>
事務局	<p>文化庁に確認したところ、文化財の一部として扱うのであれば新しい技術ではなく、当時の技術で積み直すことが求められます。逆にこれを文化財として扱わない、史跡の構成要素として扱わないのであれば、新しい技術を使ったり、見た目はそのまま作り替えることもできるようになります。ただ文化財としてであれば、文化財の石垣の設計監理ができる技術保存団体等があり、そちらに設計をしてもらい、そして元の姿に積み直しをすることが求められます。数年単位で時間はかかります。今は、現状変更の申請を出してもらって、この橋の上に新たに仮設の橋をかけていますので、その期間が終わるまでに何とか道筋を立てて、この崩れた所だけを直すのか、残りの部分も解体込みで復旧するのかを文化庁と検討し、所有者と相談しながら復旧します。</p>

### (3) 柏原の大ケヤキ（木の根橋）保存活用計画策定について【資料4】

事務局から説明

質疑

会長	<p>今は支柱を立てて倒れることがないようにされていますが、前会長は過保護にしすぎると駄目だということも言っておられました。樹木医の方は初めて参加される方ですか。</p>
事務局	<p>これまでから入ってもらっている方です。</p>

## 5. 協議事項

### (1) 県指定候補・市指定候補物件について【資料5】

事務局から説明

副会長	<p>鴟尾については、指定になっていなかったのが不思議な感じもします。もともと壊れた状態で発見されたものが復元して完全な形になっていますが、かなり補填した部分もあるので、破片はバラバラの状態だけれども、こういう状態が出てきました、という意味でも価値があるのかなと思いますので、ぜひご検討いただきたい。</p> <p>清菌寺の庭園ですが、ご住職が気にされているのは、先代の時にこの石組みの裏にかなりサツキ等を植樹されたということです。見にこられた方からちょっと枯山水ではないのでないかと言われたこともあったそうで、もし指定になった場合に、せっかくある木をどうするのか、切らなくてはいけないことになるのか、先代も庭園が美しくなるようにと植えられたと聞いていますので、検討していけばよいのではないかなと思います。</p> <p>ご住職自身はその植樹のことをすごく気にされていたので、ぜひご確認いただければ。</p>
会長	<p>いつから工事を始めて、京都の誰々が作って、というような資料は残っているのですか。</p>
事務局	<p>まだ古文書等の確認はしてないのでわからないのですが、おそらく資料としてまとめられた内容にはそこまで書かれていませんので、庭の形式とかそういった部分から判断されているかと思います。</p>
会長	<p>もしあれば、すごく補強する材料になりますね。</p>
委員	<p>天神窯の鴟尾ですが、もちろんこの窯から出土したもので、かなり価値があることはわかるのですが、鴟尾だけではなくて瓦当などセットで指定に追加するものはないのですか。</p>
事務局	<p>鴟尾と一緒に出ているものが結構膨大なので、どこまでをセットにするのかなども今後検討したいと思います。</p>
会長	<p>これは協議事項ということになりますので、まず県の指定候補物件として、鬼こそを市から県指定候補として上げる、これについて異議はありませんか。それから、新たな市指定候補物件ですが、天神窯の鴟尾についてはセットでできるならば、その辺りも考えて欲しいという、委員からの付帯意見がありましたので、その点も踏まえていきたいと思います。</p> <p>清菌寺の庭園についても、古文書などの資料でさらにこの庭園の価値を補強できるようなものがあれば、なおいいかなと思いますので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>この3件について、市の指定候補とすることについてご異議はありませんか。意義がありませんので、この3件を市の指定候補とすることにしたと思います。</p>
会長	<p>文審では本件3件については、指定候補とすることに異議はないということで進めてください。</p>

## 6. その他 配布のチラシ、報告書等について事務局から説明

## 7. 閉会 山内副会長